

今治市食と農のまちづくり委員会議事録

日 時：平成 27 年 7 月 22 日（水） 13 時 30 分から 16 時 40 分まで

場 所：今治市役所 11 階 特別会議室 4 号

出席者：胡柏会長、丹下晴美副会長、黒川俊継委員、越智彰委員、桑田誠委員、越智敬三委員、村田亮介委員、長尾正人委員、西部知香委員、丸山ひろ子委員、越智真貴夫委員、鎌倉美重子委員、安井孝委員、由良裕委員、長野南委員、平野直人委員（合計 16 名）

事務局：越智敬三、越智直紀、鳥生宏、村上敬子（今治市）

傍聴者：なし

- 議事内容：1. 今治市食と農のまちづくり委員会について
- ・今回、委員改選により新任となった方を対象に、条例制定までの経緯や委員会の設置根拠、取り組む内容等について説明。
2. 役員の改選について
- ・会長に胡柏委員、副会長に丹下晴美委員がそれぞれ留任。また、監事に桑田誠委員と鎌倉美重子委員が就任することが決まった。
3. 平成 26 年度の食と農のまちづくりに係る事業報告について
- ・事務局より活動内容の報告がなされた。
4. 各種計画の策定及び進捗状況について
- (1) 有機農業振興計画の改正について
 - ・今年 4 月に、国より新たな「有機農業の推進に関する基本的な方針」が公表されたことから、これに配慮しながら、現計画を見直す旨、事務局より報告があった。
 - (2) 地産地消推進計画の進捗状況について
 - (3) 食育推進基本計画の進捗状況について
 - ・事務局より前 2 項の計画の進捗状況が報告された。
 - ☆グリーンツーリズムの体験者数について話し合われた。
 - ☆学校給食用パン用小麦及び特別栽培米の供給率について話し合われた。
5. 平成 27 年度の食と農のまちづくりに係る事業計画について
- ・事務局より今年度の事業計画の説明がなされた。
 - ☆産婦人科医院等への地産地消の普及を拡大できないか。
 - ☆食のブランド週間を毎月 1 回実施できないか。
 - ☆ネオニコチノイド系農薬の使用を制限できないか。
 - ☆市街地に残る古くからの醤油屋さんで使用する原料を地元産でできないか。
- などの意見が出された。